

# 定期演奏10回目は「第9」

左京で29日 オーケストラ・アンサンブル京都

市民合唱団も  
応援

## 練習追い込みに熱

京都市を拠点にするアマチュアオーケストラ「オーケストラ・アンサンブル京都」が、第10回定期演奏会を29



演奏会に向け、練習に打ち込むオーケストラ・アンサンブル京都の団員。後方は京響市民合唱団の団員（大津市・スカイプラザ浜大津スタジオ）

日午後2時から、左京区の京都コンサートホールで開く。節目として選んだ曲はベートーベンの「交響曲第9番」。

団員たちは本番前の追い込みに熱が入っている。同オーケストラは2001年に発足。30人弱で出発した団員は2070代の46人に増えた。社会人が中心とあって、隔週の日曜日に練習してきた。

「シャヤもある。しかし、松崎博夫団長（57）は西京区は「毎回楽し

んで練習するのが団曲も演奏する。入場料千円（未就学児は不可）。チケットの問い合わせは京都コンサートホール ☎075（711）3090。（松田ゆい）

ベートーベンの楽曲は結成時から精力的に演奏し、これまでに大半の交響曲を披露した。だが、第9番は初めてで、合唱を依頼した京響市民合唱団や応援の演奏者も含めて総勢約150人が大舞台を作り上げる。

1年間に及んだ練習もすでに終盤で、本番ムードが高まっている。市民に親しまれ、師走の風物詩にもなっている曲のためプレッ